



叙 勲

令和4年春の叙勲、第38回危険業務従事者叙勲が4月29日付で発表され、本市から7名の方が受章の榮譽を受けられました。



瑞宝双光章

[春の叙勲]

(教育功勞)

堀井和夫さん 73歳(鎌数)



昭和47年に教諭に補され、平成21年に退職するまでの37年の永きにわたり教育活動に尽力されました。中央小の校長に着任した際は、第33回全日本教育工学研究協議会全国大会の会場校長として、大会成功に寄与するなど、特色ある教育の推進などに努められました。

瑞宝双光章

[春の叙勲]

(更生保護功勞)

伊知地直さん 73歳(萬歳)



平成9年に保護司として委嘱されてから25年余にわたり、更生保護事業に多大な貢献をされています。誠実な人柄と強い責任感で、多くの保護観察対象者の立ち直りを支え、地区保護司会では会長などを歴任し、会の円滑な運営と発展に寄与されています。

瑞宝双光章

[春の叙勲]

(教育功勞)

椎名秀明さん 73歳(野中)



昭和47年に教諭に補され、平成21年に退職するまでの37年の永きにわたり教育活動に尽力されました。平成20年度には「いきいきばっ子健康・体力づくりモデルプラン」実践研究校長として陣頭指揮を執り、全国学校体育研究優良校受賞に多大な貢献をされました。

瑞宝双光章

[春の叙勲]

(文部科学行政事務功勞)

丸岡賢さん 71歳(後草)



昭和45年に科学技術庁に奉職され、平成20年の退官までの38年の永きにわたり、文部科学行政に尽力されました。この間において、内閣府政策統括官付参事官付管理審査官の際は、科学技術政策担当部局の組織体制整備や業務執行管理など、業務全般にわたり貢献されました。

瑞宝单光章

[春の叙勲]

(消防功勞)

鈴木格さん 73歳(琴田)



昭和50年に旭市消防団に入団され、旭市消防団長を10年務められ、千葉県消防協会副会長などを歴任されました。令和4年3月に退団されるまで、25年にわたり消防活動に尽力され、火災などの災害発生時には、適切かつ迅速な判断と行動で、地域住民の安全に貢献されました。

瑞宝双光章

[危険業務従事者叙勲]

(警察功勞)

柳田仁さん 72歳(ハ)



昭和43年に千葉県巡査を拝命されて以降、41年にわたり警察職務に精励され、特に刑事部門で活躍されました。凶悪事件の捜査においては、鋭敏な感覚と綿密かつ粘り強い捜査により、多くの被疑者を検挙するなど、県内の治安維持に多大な貢献をされました。

瑞宝双光章

[危険業務従事者叙勲]

(消防功勞)

品村順一さん 65歳(江ヶ崎)



昭和50年に東京消防庁に入庁後、旭市外三町消防組合に奉職し、42年余にわたり主に特別救助隊員として人命救助に尽力され、全国救助大会では第1位を受賞されました。また、消防長として消防本部の発展と市民の生命、財産の保護に貢献されました。